

2025年度 メリー★ポピンズ 東神奈川ルーム 事業計画書

Ⅰ.基本方針

この先、どんな未来になっていくのか。よりよく生きるために、何が必要なのか。

子どもが、遊びと暮らしの中で感じたことや考えたことを自由に表現し、互いの意見を尊重し合いながら、「やってみたい」と感じたことに自ら挑戦できる安心・安全な環境を通して、「自分で考え行動する力=にんげん力」を育む。

〈Ⅰ〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子ども主体の質の高い保育を行う
	実践予定内容	保育所は、子どもの尊い命を預かる場所であり、かつ現代社会において必要不可欠な場所となっている。この先の未来を担う子どもたちを守り育てていくために、「安心・安全」かつ「養護と教育を一体とした質の高い保育」を通じて、よりよい未来をつくり出す力の基礎を育む。
2	計画・ねらい	すべて実際に経験し、質の高い人格形成を行う
	実践予定内容	日課や暮らしを通じて、歌う楽しさ、労働の面白さや大変さ、自然・生命の尊さ、食材や命の循環に気付くことができるよう、10より100の経験を用意する。
3	計画・ねらい	持続可能な園運営を行う
	実践予定内容	現代における保育所の役割は多岐にわたり、社会にとって必要不可欠な場所である。「常にニーズを把握→力を注ぐべき事柄を精査→必要なことに尽力する」ことができるよう、業務の見直しを定期的実施し、より良い業務体制を構築することで持続可能な保育及び園運営を行う。

〈Ⅱ〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	子育ての苦労や楽しさ、成長の喜びを共にする存在となる
	実践予定内容	保育所は子どもが生活の大半を過ごす場所であることから、スタッフは保護者の悩みに寄り添い、自分ごととして捉える。園・家庭での様子を共有し合い、子育ての大変さや楽しさ、成長の喜びを共にする存在となることを、スタッフ全員が一丸となり子育てに伴走する。
2	計画・ねらい	子育てのプロとして、子どもの育ちを伝える機会を提供する
	実践予定内容	保育参加・個人面談を通して、親子もスタッフも共に支え育ち合えるパートナーになる。また、どろんこサポーターの募集及び行事等への参加を呼び掛け、保護者と保育所が共に取り組むことで、互いの経験・学びとなる場を提供する。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域に開かれた、親しみのある施設
	実践予定内容	勝手籠の設置及び、園見学・青空保育・おはなしかご・どろんこ祭り・運動会等、園を知ってもらう機会及び事前周知・情報発信を計画的に実施する。担当部署の設置。
2	計画・ねらい	地域の身近な施設との交流
	実践予定内容	商店街ツアー、シニア交流、世代間交流等を計画的に実施し、地域の身近な施設との交流を通して、地域と密に関わる。
3	計画・ねらい	業界・業種を越えた繋がりをつくる
	実践予定内容	1,2の実践を通して、地域全体で未来を明るくしていことのできる活動及び交流等の提案を行う。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	「自ら考え、学び、動く」主体性のある人間
	実践予定内容	気づきや課題を捉える目を持ち、できていないことがどうしたらできるか、より良くするため何ができるかを自ら考え実践し、振り返ることができる機会の設定。及び、互いの意見や多様性を認め合いながら、保育所が目指す方向に向かう取り組みを提案できる機会の設定。
2	計画・ねらい	研修の受講及びMBOの定期実施（個人）※施設長主任含む
	実践予定内容	スタッフが学びたい分野の研修受講機会を確保するため、年度始めに受講希望分野のヒアリング及び施設長主任はシフト調整を行い、スタッフの学びの機会の確保とスキル向上を図る。また、施設長主任はスタッフ自ら日々の目標と行動計画を立てて働くことのできるよう、MBOの振り返りを定期的実施する。
3	計画・ねらい	園内研修の実施（全スタッフ）※施設長主任含む
	実践予定内容	前年度の課題及びスタッフ個人の課題・園の課題を踏まえ、必要な研修、講座、ディスカッション等、アウトプットする機会を設定する。また、施設長主任は、上記がスタッフの成長に繋がることを認識し、必要なサポートを実施する。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	続・畑からはじまる食の循環
	実践予定内容	前年度の振り返りを生かした農業計画を元に、畝づくり・種まき・水やり・草むしり・収穫・調理まで実施する。土に触れることで免疫を高め健康な身体を育てるとともに、水やりや草むしりなどしなくてはならないことを学ぶ・収穫する喜びを味わう・収穫した食材を調理加工することで、食の循環を知る機会を提供する。
2	計画・ねらい	環境課題を自分ごととして考える力を育む
	実践予定内容	毎日食べている給食の作り手である栄養士と連携し、子どもと一緒に給食残渣をコンポストに活用及び畑に再利用することで、自分たちが食べ残したものの行方や環境への関心を育む。
3	計画・ねらい	ISO14001認証施設としての取り組み

	実践予定内容	持続可能な社会をつくる施設として、より良い計画と内容の充実を図る。
--	--------	-----------------------------------

〈6〉変化・成長を楽しめる場所であるために～東神奈川ルームスタッフの約束～

1	計画・ねらい	大人の「にんげん力」を最大限発揮する
	実践予定内容	子どものにんげん力を育む為には、大人のにんげん力が必要不可欠である。そのため、まずはスタッフが様々なことに挑戦することで、変化・成長を楽しめる場が保育所であることを目指す。
2	計画・ねらい	常に「プロ意識」と「チームの一員」であることを忘れない
	実践予定内容	自分の発言・行動が、チーム全体に影響を与えることを自覚し、自分のことだけでなく常に相手の立場・チームの未来を想像し業務を遂行する。
3	計画・ねらい	約束を守る
	実践予定内容	マニュアルや締め切りを守り、一人ひとりが業務を円滑に遂行することで、より良い保育・園運営を行うために「本当に必要なこと」に注力できるチーム体制を構築する。また、何事にも意味・意図があることを理解し、責任を持って行動する。
4	計画・ねらい	持続可能な園運営を行う
	実践予定内容	業務の洗い出しの視点を持ち、力を注ぐべき事柄に尽力できる業務体制を常にアップデートしていく。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
-	7人	7人	7人	7人	7人	35人

〈2〉開所時間

平日 7時00分～20時00分（土曜はP'sスマイル保育園にて合同保育）

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	7人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
	パート スタッフ	3人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	園運営に関わる報告及び検討、園内研修
給食運営会議	月1回	食育、アレルギー対応、コンポスト
事故防止委員会	月1回	事故、怪我の未然防止を目的とした報告及び検討
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもの支援計画
クラス会議	月1回	クラス担任による保育の振り返り及び検討
リーダー会議	随時	園運営に関する検討
昼礼	週1回	業務連絡、クラスの子どもの情報を他クラス担任と情報共有及びディスカッション

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	月例報告等
施設長勉強会	月1回	園運営、保育の質向上等
食育会議	年4回	食育計画進捗報告、残渣、食の循環、その他改善提案等
保健会議	年4回	保健計画進捗報告、感染症対策、その他改善提案等
主任会議	年4回	保育の質向上、マネジメント等
子育ての質を上げる会議	月1回	課題把握、子育ての質の向上検討等

〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	保健計画、衛生に関する定期点検の実施
安全対策係	施設内外の設備管理、点検、事故防止に関する検討
防火管理者	防火管理に関する訓練及び定期点検等の実施
食品衛生責任者	給食衛生管理マニュアルに基づいた対応、スタッフへの指導

畑係	年間農業計画に基づいた活動の実施、畑・コンポストの管理
生き物係	園で飼育する生き物の世話統括

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	企画、運営、振り返り等
運動会係	企画、運営、振り返り等
生活発表会係	企画、運営、振り返り等

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 1～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や友だち、保育者と慣れ親しむ。 ・個々の発達に応じた関わりを通して愛着関係を育む。 ・身近な物事への関わりを経験する。
	下半期 1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の自立に向け、生活リズムの確立、排泄や着脱等に興味を持ち、自らやってみようとする。 ・戸外活動や異年齢児との関わりを通して、身近な物事への興味関心が広がる。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活や遊びの中で、基本的生活習慣や運動、危険なものとの距離の取り方が身につく。 ・様々なことに興味関心を持ち、主体的に取り組む。 ・異年齢での関わりの中で、学んだことや感じたことを表現しようとする。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな社会生活及び集団生活を通して、やるべきことに取り組む・ルールを守る・互いの意見を聞く力が育つ。 ・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力が育つ。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用

運営委員会	年2回	・6月と11月に実施予定
-------	-----	--------------

〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	食への意欲を育む～食べることは生きること～
	実践予定内容	「食べること」は「生きること」である。子どもも大人も一緒に食事をする事・戸外活動の充実・畑活動・収穫した食材の調理加工・子ども自身による盛り付け・配膳を通して、食べることの楽しさや意欲、様々な食材への興味関心等が育まれるような活動を実施する。毎月の給食運営会議でも振り返りを実施し、食への意欲を育むために必要な物事を検討する。
2	計画・ねらい	食の循環を知る～「命」をいただいていることへの感謝の気持ちを育む～
	実践予定内容	「私たちが食べているものはどこから来るのか」「命をいただいている」ということを学び、食べることへの感謝の気持ちや食べ物を大切にすることの気持ちを育む。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導、性教育等
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 4～9月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ 6～10月頃・・・マイコプラズマ肺炎 7～10月頃・・・咽頭結膜炎、流行性結膜炎 11～3月頃・・・水痘、インフルエンザ、感染性胃腸炎 1～6月頃・・・伝染性紅斑 3～4月頃・・・麻疹、風疹 一年を通して・・・突発性発疹、流行性耳下腺炎
発作・痙攣等の対応のため	ダイアアップ・・・預かりなし

の薬の預かり	坑アレルギー薬・・・2名より預かり済み／事務所に保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在11名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員3名については3月31日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	本日現在11名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員3名については3月31日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルス及び他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもが自ら遊びを選び取ることのできる環境構成
	実践予定内容	子どもの興味関心や発達に応じ、自ら遊びを選択し、考え工夫できるような環境を追求する。また、子ども間でのぶつかり合いや葛藤を調整する機会が得られるように物の数・置き場所を構成し、保育者は必要な場面で必要な量の言葉掛け・介入を行う。子どもの姿と保育者の願いを併せ、随時環境を再構成し、子どもの経験の充実を図る。
2	計画・ねらい	子どもも大人も気持ち良く過ごすことのできる場所
	実践予定内容	保育者は、子どもと一緒に雑巾掛けや身の回りの整理整頓を行い、清潔で整った環境で過ごすことの気持ちよさを日々の園生活を通して伝えていく。また、開園から年数が経過しているため、施設運営に必要なものを一度整理し、「いつでも・すぐに必要なものに手が届く」ようにすることで業務の効率化を図る。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	<p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所は子どもの尊い命を預かっている場所であることを認識する。 ・ 睡眠中（SIDS）、プール活動中、食事の場面では重大事故が発生しやすいことを踏まえ、マニュアル順守及びスタッフの知識や管理体制の維持向上に取り組む。 ・ 事故や怪我を未然に防ぐため、ヒヤリハット記録・インシデント記録・事故記録の傾向を月ごとに分析し、事故防止委員会（毎月実施）において全スタッフで共有・検討する。
2	実践予定内容	<p>災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防火設備や避難経路等の安全点検を実施する。 ・ 毎月の避難訓練では、様々な状況を想定した訓練を実施し、子どもの安全確保やスタッフ同士の連携等、必要に応じた対応を行う。
3	実践予定内容	<p>その他（スタッフ育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設長・主任・リーダーは、必要に応じて若手スタッフ及びパートスタッフに必要な指導及び助言を実施する。 ・ 課題及び発見時は、研修やロールプレイングを実施し、より質の高い危機管理体制を整える。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

次世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するため、実習生・研修生の受け入れを積極的に行う。

1	実践予定内容	大学・専門学校の依頼による、保育実習・ボランティアなどの積極的な受け入れや継続した交流の実施。
2	実践予定内容	中学校・小学校の依頼による、保育所見学・職業体験などの積極的な受け入れや継続した交流の実施。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉2025年度 園内研修計画

（毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施）

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園目標及び事業計画、職務分掌確認 ③ 人権チェック、虐待防止研修（年2） ④ 危機管理	・保育目標及び運営方針の理解 ・子どもの人権及び虐待に関する理解 ・ケガ・ケーススタディ研修
5月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 日課の振り返り ③ 接続期カリキュラム（10の姿含む）	・日課の理解と課題の整理 ・接続期カリキュラムの共有及び保育内容の整理
6月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 日課の振り返り ③ 水辺のリスクマネジメント／熱中症対策	・日課の理解と課題の整理 ・7月～8月のプール活動・水遊び時のリスクマネジメント研修
7月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② プール活動・水遊び振り返り ③ 子どもが自ら遊びを選び取ることのできる環境構成	・心肺蘇生法ロールプレイ ・子どもが主体となる環境構成
8月22日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園目標及び事業計画振り返り ③ 子どもが自ら遊びを選び取ることのできる環境構成	・下期に向けた目標到達点及び課題の整理 ・子どもが主体となる環境構成

9月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理 ③ 接続期カリキュラム（10の姿含む）	・ 戸外活動時のリスクマネジメント ・ 接続期カリキュラム振り返り及び下期取り組み内容の見直し
10月24日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② インクルーシブ保育 ③ 人権チェック、虐待防止研修（年2）	・ 子どもの姿から人的環境・物的環境を再構成 ・ 子どもの人権及び虐待に関する理解
11月28日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 衛生管理／感染症対策 ③ 日課の振り返り	・ 嘔吐処理ロールプレイ ・ 日課の理解と課題の整理
12月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園目標及び事業計画振り返り	・ 次期に向けた目標到達点及び課題の整理
1月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 接続期カリキュラム（10の姿含む）	・ 接続期カリキュラム振り返り及び保育内容の見直し
2月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 第1回策定会議	・ 今年度の振り返り及び次年度への検討・共有等
3月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 第2回策定会議	・ 第1回策定会議を踏まえた次年度の園目標・体験活動・行事等の検討

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

[illegible]

リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デモンクインターンシップ	希望するスタッフが応募

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

地域にとって親しみがあり、必要とされる場所になるための活動計画・提案及び発信活動を実施する。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：100名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：反町公園にて 集客目標：月5名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人福祉施設の訪問（ひまわり介護）
異年齢交流	近隣の保育所・幼稚園・小学校との交流及び情報交換 中学生・高校生・大学生及び専門学生との交流 地域ボランティア活動の受け入れ
地域拠点活動	ちきんえっぐ、園庭開放、青空保育 地域イベントや地域子育て支援拠点への広報活動（かなーちえ、かなーちえサテライト）
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

横浜市のアプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムを学び、自園の子どもの就学先となる小学校を中心に、職員間交流と子ども間交流を実施する。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
4～6月頃	横浜市立幸ヶ谷小学校 (1年生) 横浜市立二谷小学校(1年生) 横浜市立斎藤分小学校 (1年生)	子ども5名予定	小学校見学	子ども間・職員間交流
7～9月頃	横浜市立幸ヶ谷小学校 横浜市立二谷小学校 横浜市立斎藤分小学校	スタッフ2名予定	公開授業 情報交換	職員間交流 情報交換
10～12月頃	横浜市立幸ヶ谷小学校 (1年生) 横浜市立二谷小学校(1年生) 横浜市立斎藤分小学校 (1年生)	子ども5名予定	授業体験	子ども間交流
1～3月頃	横浜市立幸ヶ谷小学校 横浜市立二谷小学校 横浜市立斎藤分小学校	スタッフ2名予定	公開授業 情報交換	職員間交流 情報交換

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

要支援児に対して作成する。全スタッフが正しく子どもを理解し、共通理解のもと支援を行う。

〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：11名予定)

個別支援計画の実施状況や結果等の振り返りを行い、計画の見直しを行う。

〈3〉進級引継、及び、小学校への引継

小学校教員への電話または来訪、及び保育所児童保育要録を基に引き継ぎを行う。

1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30 集客目標：月5名
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30 集客目標：月5名
自然食堂…親子ランチ交流	毎月第2(火) 10:00～12:00予定 集客目標：5名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週第1(金) 10:00～12:00予定 集客目標：月5名
勝手籠設置	(月)～(金) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：反町公園にて開催 集客目標：月5名

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2025年某日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：15時30分

自己評価終了予定時刻：16時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、リーダー保育士、栄養士、パート保育士

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	「子どもも大人も主体性をもって行動できる保育所の基盤をつくる」・ 安心・安全な質の高い保育の提供。 ・子ども・スタッフともに、6つの力と10の姿の体得。
-------------	------	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・鶏を絞めて食す、命をいただく活動の実践。（3歳児以上対象／選択制） ・保護者及び地域にとって、信頼と親しみのある施設となるための発信活動の実施。 ・スタッフによる提案・実行を歓迎し、園全体で一丸となり取り組み、保育をアップデートしていく。
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが主体性をもって行動するためには、園内の心理的安全性が保たれることが前提である。引き続き、互いを尊重し認め合うことを大切にし、質の高い保育及び園運営を行っていく。 ・毎月の園会議を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の理解及び保育実践を行った。具合的な子どものエピソードを用い、「ここから子どもは何を学び何が育っているか」「より育ちを育むために何が必要か」「誰がいつどのようにやるのか」をスタッフ一人ひとりが捉え言語化し保育へと繋げられるよう、「子どもの姿を中心とした質の高い会議」を継続していく。 ・送迎時の伝達やタイムラインに加え、玄関に子どもの写真を掲示したことで、保護者との対話が増え情報共有や相互理解の機会となった。また、保護者同士、子ども同士、親子の会話にも繋がったため、引き続き必要な発信活動を検討・実施していく。 ・スタッフによる提案については改善が必要。施設長による議題提示が多かった一年だった。スタッフの保育経験が異なる中で、感じる課題や提案も異なることを前提に、感じた課題は側共有・即改善できる仕組みを見直す。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	「子ども主体の質の高い保育を行う」
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全を基盤とした、子ども主体の質の高い保育の提供。 ・一日一日を大切に、すべて実際に経験することを通じて、よりよい未来をつくり出す力の基礎培う。 ・保護者及び地域にとって、信頼と親しみのある施設となるための活動計画及び発信活動の実施。 ・保育所のニーズやすべきことを常に理解し、自分にできることを考え生み出そうとするスタッフの育成。また、研修への参加及び実施。 ・持続可能な園運営の実施。 ・業界・業種を越えた繋がりを地域でつくるための活動計画及び実施。
2026年度	目指す姿	「自分の行動に意味を持ち、考え行動し続けられる人間の育成」
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが様々なことに興味関心を持ち、経験する中で、やることへの意味を見出しながら活動に取り組もうとする力を育む保育の実施。 ・保護者及び地域との繋がりの中で、保護者と保育所、地域が結びつき、共育ちできる支援活動の実施。
2027年度	目指す姿	「地域に開かれた、共育ちできる場所のロールモデルとなる」
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化する社会の中で、互いを尊重し合い、子どもも大人も生活力・選択力・思考力・行動力を身に付け、よりよく未来を生きる力を育む。

		・保護者及び地域との繋がりの中で、子育てのロールモデル及びとも育ちできる場所のロールモデルとしての施設運営及び常に定員が埋まっている施設。
--	--	---

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 東神奈川ルーム 施設長 沖 理菜